

6 京丹後ブランドの販売戦略

京丹後ブランドの発信に向けて

■6次産業創造プロジェクト経費
【農林水産業費】(継続) 128万円
(農林水産環境部 農政課)

京丹後市の第1次産業の振興や活性化を図るため、第2次産業、第3次産業との連携・複合化(6次化と呼んでいます)を進めます。料理家や生産技術有識者、研究者などの専門家を市専門委員(政策企画委員またはプロジェクトチームアドバイザー)として招へいし、指導や助言を受けながら地場産業の振興を推進します。



京都吉兆嵐山本店で開催した米の食べ比べ

■京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金
【商工費】(継続) 600万円
(商工観光部 観光振興課)

平成19年7月に開設した丹後地域の特産品ショップ「ホット丹後」(京都市上京区)の運営を支援します。同ショップでは、地場産品の紹介や販売によって消費動向やニーズの調査を行い、生産者に情報提供することで商品の高品質化をめざしています。さらに、1,500人を超える友の会会員と、新規販路開拓をめざす生産者が連携し、商品販売を通じて丹後の魅力PR活動や丹後の魅力体験ツアーなどの誘客活動に取り組み、都市との交流に努めます。



特産品ショップ ホット丹後

II 暮らしの中でのちが輝く 環境循環都市

環境先進都市推進プロジェクト構想

1 自然環境の保全と創造

環境保全の計画的推進

■環境基本計画推進事業
【衛生費】(拡充) 239万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

平成21年度に策定した「京丹後市環境基本計画」を推進して、環境循環都市の実現をめざしています。実現には、広く市民や事業者、市民団体、旅行者へ基本計画の内容をご理解いただくことが必要のため、普及・啓発に努めるとともに、計画を着実に実行していきます。



内山ブナ林の大ブナ

新火葬場の建設に向け

■新火葬場火葬炉選定事業
【衛生費】(新規) 180万円
(市民部 市民課)

市内にある竹野川斎場・網野火葬場・久美浜火葬場の3火葬場はいずれも老朽化が進んでおり、京丹後市では新たな火葬場の建設を計画しています。そのため、各メーカーの炉設備をさまざまな角度から比較・検討し、新火葬場で使用するのに最もふさわしい火葬炉設備を決定します。(平成25年度中の稼働開始をめざしています。)



竹野川斎場

2 新しいエネルギーの導入と活用 環境に配慮したエネルギーの活用

■地球温暖化防止対策推進事業
【衛生費】(新規) 233万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

地球温暖化防止のためには、自然エネルギーの利用や、石油・石炭などに頼らない燃料を使用することが必要です。本市の地理的な特徴を活かして、風の力を電気に変える小型風力発電システムの普及や、山の木を有効に活用できる薪ストーブ・ペレットストーブの普及を図ります。(補助率:対象事業費の12分の1)



小型風力発電機

■エコエネルギーセンター管理運営事業
【衛生費】(継続) 2,011万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

循環型社会の実現を図るため、エコエネルギーに関する情報発信および資源の利活用など、環境に関する学習の普及ならびに生ごみなどの有機系未利用資源の再資源化を促進する拠点施設として、生ごみから肥料や電気を製造するエコエネルギーセンターの管理運営を行います。



京丹後市エコエネルギーセンター

3 循環型社会の構築

持続可能な循環型社会をめざして

■地域バイオマス利活用推進事業
【衛生費】(新規) 1,021万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

私たちの生活や事業活動を通して大量に発生するごみの中には、工夫次第で資源として活用できるものが多くあります。生ごみはしっかりと分別すれば資源として再生することが可能であり、生ごみからできた肥料を農業に使うことで資源の循環を行うことができます。

平成22年度は、家庭や事業所の生ごみ分別・収集の検討をモデル的に行い、生ごみなどから作った肥料を実際の農地で使う実証試験を行います。

